

令和元年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、令和元年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。

この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

＜目指す子ども達の姿＞

自主性を持って様々な活動に取り組み、感性豊かに感じ、考え、行動することを楽しむ。

目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の2点を常に意識して取り組みます。

- ①元気にのびのびと体を動かすことを楽しみ、素直で明るい心を育てること
- ②豊かな感性で気付く面白さ・考える楽しさ・行動できる充実感を繰り返し体験し学ぶことの意欲を育てること

子ども達が、安定した人間関係の中で生活や遊びを通して社会のルールや優しさと思いやりを身につけていけることを意識し、計画を立てて日常の保育に取り組みます。

II. 今年度の重点目標

- 教育課程・指導計画の充実及び周知
- 公開保育研修の実施・充実
- 教職員の資質向上
- 全体会議の活性化
- 安全管理体制の強化

III. 取組み状況と今後の課題

自己評価項目			取組み状況
1	教育課程・指導計画の充実及び周知	教職員自身が日々の活動それぞれの意図や本質を考え、子どもたちの成長に即した指導計画へと応用していく。	B その日の活動の狙いや子供に意識させるポイントを考えて指導をしていた。学年の話し合いでは意見を言い合い新しい事にも積極的に挑戦する事ができた。1日の流れは事前に考えて計画的に進める様にしていった。明確な目標を持ち保育を進めることが出来てきた。カリキュラムに沿って保育することで精一杯になってしまった。成長過程に合わせて保育内容を考えたり変更して取り組んだ。園長先生や先輩に相談して取り組んだ。
2	公開保育の継続実施	他の教職員の指導方法から自身の保育を振り返り、互いに刺激し学び合う姿勢で取り組む。	A 公開保育により普段あまり見る事の出来ない指導を見て学ぶことや助言を聞くことができた。色んな保育の仕方を学ぶことが出来て気付くことが多かった。自分の保育を、先輩から見て頂きたくさんのアドバイスや意見を貰えたのでよかった。反省会では他の先生たちの意見を聞いて次につながる目標を作ることができた。合同で保育指導を行ったり、若い保育者に経験を積んだ保育者が何度か子供達へ指導を行い学ぶ機会を多くした。

令和元年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

自己評価項目		取り組み状況
3	教職員の資質向上	<p>教職員が視野を広げ知識を深めようとする姿勢を持ち、子ども達の興味や関心を引き出す工夫を行って行く。</p> <p>B</p> <p>毎年同じ内容を繰り返すのではなく、「どうしたらもっと良くなるか」「分かりやすいか」と考える先輩方を見て、自分も考えて仕事をしようという気持ちが身に付いた。自分の知っている知識以外を調べて子供達に伝えるよう努力した。子供達が興味を持てるように絵本や図鑑を用いて工夫した。連合会の講義に参加をしたり、歌唱・鼓隊指導を受け、子どもの理解や話し方・伝え方を学ぶことができた。季節の歌や製作をする時はその意味を伝え楽しみながら出来るように工夫した。</p>
4	全体会議の活性化	<p>自らの意見に自信を持つとともに積極性を養い、他の教職員の考えも尊重して耳を傾けて行く。</p> <p>B</p> <p>会議で問題提起のあった事に対して、自分なりに理解したことが間違っていないか周囲の様子を見ながら実践した。行事の反省・課題があれば全員で解決すること事はできている。一つの問題に対して、1人1人の意見を話し聞くことが出来た。自分の意見が人と違えば自身をなくしてしまう場合もあると思う。絵本の読み聞かせの仕方を学んだ。昨年度よりも若い職員が意見を言い合う機会が増えてよかった。意見を言う人が決まってきたように思う。</p>
5	安全管理体制の強化	<p>防災頭巾の取り扱いを周知徹底させるとともに、教室内外の危険個所の確認を定期的に行う。</p> <p>B</p> <p>避難訓練での防災頭巾の使用方法や収納方法を学んだ。定期的に訓練を行った。防災頭巾の被り方に迷うこともなくなった。他クラスとの連携を行い、きちんと声をかけて誘導することができた。防災頭巾を持ち運びやすいように大きな袋に入れるようにした。防災頭巾の管理方法を工夫した。子供たちへ、防災頭巾をかぶる意味を伝えたことで訓練に取り組むことが出来た。保護者の連絡先を必ず持って出る様にした。</p>

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 次年度の取り組むべき課題

1	教育課程・指導計画の充実及び周知	<p>子どものなっってほしい姿を具体的に1人1人考えてそれに向けて指導計画を考えていく。さらに教職員同士の連携を密に取っていく必要がある。予定通りにいかないこともあるのでいくつかのパターンを考えておき、臨機応変に対応できるようにしたい。</p>
2	公開保育の実施・充実	<p>他園の公開保育にも参加してみたい。実際の保育だけでなく日案も見たい。他の保育者の姿を自身の保育にも取り入れていけるようにしたい。日々の保育でも意識して取り入れていきたい。保育の内容を具体的に記録することの意識をしていきたい。</p>
3	教職員の資質向上	<p>子どもの反応を良く見て何が有効なのか実践を通して学びたい。カリキュラムを進めるだけでなく子供たちの思いや意見を取り入れることも考えながら保育に取り組みたい。絵画や工作など自分の苦手な分野の研修に参加していきたい。何に関しても自分のレパートリーがまだまだ少ないのでもっと子供の興味を引き付けるよう知識を増やしたい。</p>
4	全体会議の活性化	<p>他の先生達の意見を聞きながら、自分の考えをまとめてきちんと伝えられるようにしたい。教職員同士で問題や課題を共通理解できるようにしなければならない。若い職員の意見を認め取り入れる場を作っていく必要がある。クラスの子供についての内容も話してほしい。</p>
5	安全管理体制の強化	<p>他クラスや幅広い目配りなど保育者の配慮を高めていく必要がある。違うパターンでの避難訓練が必要。子供が分かりやすいようにするための声掛けや指示を行う。避難手順を保育者全員で再確認する必要がある。他のクラスとの連携が必要。</p>

V. 学校関係者の評価

園長先生はじめ先生方が子ども達一人一人に寄り添いながらも自主性を育めるように熱心に取り組まれている様子がよくわかり自己評価も適切に行われていると思います。

日々向上心を持って公開保育、研修など実施され意見を出し合っているのはとてもいい事だと感じました。

先生方が子ども達や保護者の名前や顔を覚えているようなアットホームな聖ヶ岡幼稚園らしさを失わず今後も子どもたちの為に頑張ってください。

聖ヶ岡幼稚園に娘を通わせていて感じることは、日々の指導目標と年間を通しての目的や目標が明確になっている事だと思います。

毎日楽しく園生活を送る事だけでなく、しっかりといつまで何をするとかという目的があるからこそ子供たちもしっかりそこに向かって楽しみながらも責任感を持ち、取り組んでいると感じます。たくさん先生やまだまだ新しい先生も多い中、保護者として不安がないのは、周りの先生方のサポートや指導が行き届いているからだと思います。全ての人々が初めてのことで不安と手探り状態だった中、頻りにメールでの連絡をくれたり先生方が全員参加型で撮ったyoutubeの動画を子供達に向けて配信してくださいました。とても嬉しい配慮で子供もとても喜んでいてありがたかったです。聖ヶ岡幼稚園では「明るく素直で思いやりがある子」という教育目標に向けて、園長先生をはじめ先生方も一丸となり、日々取り組まれていると思います。先生方は、保護者や子供の名前と顔を覚えるのが早く情報を共有してくださっているので、信頼でき安心して預けることができます。

以上